

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分区

帯広東ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

2018-2019 年度

帯広東ロータリークラブ

会 長 益子 裕之

幹 事 池田 誠

メディア委員長 加藤 雄樹

「前進への挑戦」

第1627回例会

平成30年9月25日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認証：1984年6月18日 ■例会：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場：ホテル日航ノースランド帯広

y.kato



2018-2019 年度 国際ロータリーテーマ

【インスピレーションになろう】

2018-2019 年度国際ロータリー会長

バリー・ラシン

ガバナーテーマ

【行動するロータリー、つながるロータリー】

国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー

細 川 吉 博

月間テーマ

【基本的教育と識字率向上月間】

【ロータリーの友月間】

◎起 立

齊藤蓮輝 S A A

◎友情の握手

齊藤蓮輝 S A A

◎点 鐘

益子裕之 会 長

◎開 会 宣 言

齊藤蓮輝 S A A

ロータリーソング (それでこそロータリー)

◎ゲスト紹介

益子裕之 会 長

十勝信用組合 須貝俊太 様

十勝信用組合 坂巻大夢 様

◎会 食

間として受け入れられる人材を求めているのではないかと、というお話を頂戴したときにがむしゃらに前に進もうという会員増強の合い言葉に頑張っているわけですが、一度立ち止まり身のまわりを見ていると、取引先であったりいろいろな知り合いであったり友人であったり、声を掛ける人は1人や2人はいるのではないかと、前に走ること大事ですが一度立ち止まってまわりも見ていることが、確実な会員増強への近道かもしれないと感じております。

この三連休・日曜日の日、妻と共に芽室町の愛妻屋に野菜を買いに行きました。午後1時頃でしたけど野菜を買っていると、奥の方からオーイ益子君と声が聞こえてふと振り帰ってみると、そこには懐かしい顔、庄内会員がいらっしやいました。親しくお話させて頂きまして、庄内会員も全然私より元気で顔つきや色つやも良く、どうですまたロータリーに戻ってきませんか？見たいな話も若干笑話も含めてお話をさせて頂きましたけど、ロータリーの仲間というのは本当に「嬉しい」「ありがたい」「たのもしい」そのような感じがしてなりません。

どうか会員増強に向けて、今一度立ち止まって結構ですまわりをゆっくり見わたして頂いて、一声かけて頂ければと思っております。

以上会長挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

会長挨拶

益子裕之 会長



皆さんこんにちは。すっかり夏が終わり秋という気配が強くなってまいりました。先週はガバナーをお迎えしまして、ガバナー公式訪問の例会の席上でもガバナーよりいろいろなお話を頂戴しました。

また今週は地区大会ということで、2500地区における最大のお祭りです。大変広い地域でございますので、懐かしい顔や会いたかった顔そういう人達にまさしく会える大切な時だと思っております。どうか一人でも多くの皆さんのご参加をお願いしたいと、後程幹事の方からもご案内があるかと思います。

さて本日皆さんにお話をしたいのは、ガバナー公式訪問の席上でも大きな話題となりました、会員増強の件でございます。とにかく数を増やそうという機運の中で、細川ガバナーより生業とロータリアンとして人として仲

石川前会長へ成瀬前ガバナーより会員増強表彰



◎R I 第2500地区大会(帯広)開催のご案内

日程 平成30年 9月28日(金)～9月29日(土)

場所 帯広市民文化ホール

《大会1日目(28金)》

記念親睦ゴルフ大会 8:30～ 帯広国際カントリークラブ

《大会2日目(29土)》

登録受付 8:30～ 帯広市民文化ホール

本会議(午前の部) 9:00～12:00 帯広市民文化ホール

本会議(午後の部) 13:00～17:30 帯広市民文化ホール

大会記念大懇親会 18:00～19:30 ホテル日航ノースランド帯広

ニコニコ献金

親睦活動委員会 安藤洋幸 委員

- **益子会長** ガバナー公式訪問例会ありがとうございます。また、移動例会の写真ありがとうございます。
- **加藤(武)副会長** 今年9月末で会社創業12期を無事終える事が出来そうです。周りの皆様に感謝してニコニコします。写真もありがとうございます。
- **池田幹事** 先日のガバナー公式訪問例会お疲れ様でした。写真ありがとうございます。
- **大塚会員** 野遊会の写真ありがとうございます。
- **馬淵会員** 野遊会の写真を頂きありがとうございます。
- **齊藤会員** 同好会活動に期待してニコニコ致します。
- **上野会員** 写真ありがとうございます。
- **加藤(昭)会員** 先般の職場訪問では、東洋印刷株式会社角社長には、大変お世話になりました。素晴らしい社員の皆さんと経営理念には、感銘いたしました。
- **西田会員** 米粒みたいな写真頂きました。けどニコニコします。
- **深澤会員** 話題が出来ましたのでニコニコします。先日カートから振り落とされ右足が左足の1.5倍になりました。痛いですが笑っています。
- **古川会員** 森会員、素敵な写真、ありがとうございます。本日のライラセミナー報告、坂巻さん、須貝さんよろしくお願いします。
- **角会員** 結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。誕生日に記念品を頂き有難うございました。妻と娘が写った写真をいただきました。記念として大切に保管させていただきます。
- **大澤会員** 家族野遊会のステキなドローン写真ありがとうございます。
- **及川会員** 本日ライラセミナー報告会です。ライラセミナー参加、当クラブにての本日の発表会は十勝信用組合須貝さん、坂巻さん御協力ありがとうございます。
- **帯広東ロータリークラブ会長OB会** 帯広東ロータリークラブ、会長OB会の総会が石川新会長を迎えて行われましたので、ニコニコします。

- **内山会員** 母の葬儀にさいし、お世話になり感謝申し上げます。

皆さんこんにちは。本日のホームクラブ出席は24名です。最近出席率がよろしいです。是非続いてほしいと思います。以上でございます。

プログラム

青少年奉仕・RAI委員会

【ライラ報告会】

十勝信用組合 坂巻大夢 様



皆さんこんにちは。私は十勝信用組合の坂巻と申します。入社3年目で現在は西支店で勤務しております。先日はライラセミナーに参加させて頂くという、大変貴重な機会を頂きましてありがとうございました。9月1日と2日に士別市で行われました、セミナーで学んできたことをプレゼンテーションさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

まずセミナーの内容ですが、士別市の観光地である羊と雲の丘観光視察と基調講演とグループディスカッションと懇親会グループ発表会となっております。この後1つ1つご紹介させていただきます。

士別市とはどんな町かと申しますと、北海道の北部旭川より少し北に行ったところにございまして、羊の町として有名で知られています。羊と雲の丘を視察して、士別市は観光や町興しのために、およそ1,100頭の羊を飼育されておりまして、サフォークという種類の羊を主に飼育しております。顔が黒くて羊毛が顔まで生えていないのが特徴となっています。羊と雲の丘ではシーブドッグショー、人間からの指示で牧羊犬がリードして羊の群れを追い込んだり、羊毛刈り本来は5月頃刈るそうなんですけど、今回のセミナーのために4ヶ月間も伸ばしてくれました。そして世界の羊たちを見てまわりました。羊といっても思っていたより沢山の羊がいて、顔とか鳴き声とか毛並み様々なものでした。

視察から戻ってまいりまして、北国の地方創世について基調講演を頂きました。そもそも地方創世というのは、都市部に人が集中するのではなく地方にも人を分散させるのが目的でありまして、講演の内容を主にまとめてみました。

一つ目、win-winの地域価値を生む地方創世を目指す、地域に人を呼ぶ側の訪れる側お互いに利益がないといけないということでもあります。

二つ目、過疎地では内発的開発と外発的開発が両輪になる、その地域以外のところから得ることと、その地域らしさを大切にすること、過疎地では特にこの2つが重要であってよそ者を快く受け入れる環境でないと人は増えません。しかし地域外ばかりを重視してしまうと、その地域らしさが失われてしまい全く別の町になってしまいます。地域らしさを残しつつ新たな風の流れをつくるということが重要になってきます。

三つ目、これは当たり前のことですけど、地方創世を促進する基盤になる人材づくり、人と人の信頼の絆づく

りが重要であるということでもあります。

各グループの発表内容の一部をご紹介します。

一つ目、起業しやすい環境を作るためにヒト・モノ・カネに分けて考えるという意見でした。例えばヒトならリターン者向けに企業サポーターが支援する。モノならば都会よりも土地が安いことを利用してオフィスの利用を優遇させる。カネならば企業支援金の補助等です。

二つ目、人口流失を減らすには娯楽施設を増やすことや子育て支援の強化、逆に人口流入を増やすには、涼しい気候を活かして、それともう一つ今問題となっている空き家その二つを組み合わせ、夏のオフィスということでPRする等とそれぞれの目線で考えていました。

三つ目、問題点と改善点に分けて考えるという意見です。問題点として上がったのが、最近北海道でも意識が変わってきたのですが、防災意識が低い、観光客数にあった宿泊施設が足りていないこと、人材不足、これを改善するには、防災意識が低いということは、防災を強化していく訓練を増やしていくなど、宿泊施設が不足していることであれば、今問題となっている空き家を使ってはどうか、人材不足というのは人に住んでもらわなければいけないので、住宅補助これはやっているのですけど浸透してないのでPRする必要があると思います。

四つ目、弱みを強みに変えるやり方。私は道民は弱みだと考えることとして、雪や、野生動物の被害、北海道は広いので移動距離の長さこれを強みに変えると、最近では様々な場所行われているのですが、雪を使ったイベント、野生動物が多いことであれば自然が多いとPRでき、移動距離が長いのであればスタンプラリーであったり、道沿いにイルミネーション等を付けていけば、PRできるのではないかと思います。

講演して下さった、先生がグループディスカッションにおいて、大切なことを三つ教えて頂いたのご紹介させていただきます。

質問することによって議論が活発になるため、「なぜ？」という考えを常に持つこと。様々なアイデアを組み合わせること、その意見は違うのではないかと否定するのではなくて、全く関連性の無い考え方を組み合わせることによって、もしかしたら新しい考え方が生まれてくるのではないかと思います。反対に考えてみることで、先程のように視点を変えて弱みを強みに変えることです。

ここからは私の班で話し合いましたグループディスカッションを紹介させていただきます。かぶっている部分があるのですが、聞いて頂ければと思います。

走る地元飯ということで、北海道といわれて思い浮かぶことを皆に出して頂いたのですが、意見として広すぎるため移動距離が長すぎて時間がかってしまう、札幌から出してしまうと畑しかないのではという考えもありました、雪の被害が多いこれは弱みでございます。

その一方で、面積が広い分観光地も多いのではないかと、畑が多いということは自然も豊かでご飯が美味しいのではないかと、雪が多いなら雪を使ったイベントで雪を活用して地域活性にはどうか、こちらは強みでございます。私たちは普段から暮らしている北海道、なかなか余り気付くことがありませんけど、北海道の弱みというの

は十分強みにできるのではないかと考えています。

続きまして、今の課題と解決策を話し合いました。北海道の広域性によって、人は札幌に一極集中してしまって地方との格差が拡大してきています。そこで今後は札幌だけではなく、北海道全体の地方創世を目指さなければならないと思います。そのために北海道の強みである自然や食を、地方ならではの目線でPRすること、他の地域が知らない地元の人しか知らないことを、ドンドンアピールして行くべきだと思います。

私たちの町に来てもらうためには、私たちから出向くことが重要であると考えて、その方法としてキッチンカーを使ってみてはどうかという意見にたどり着きました。キッチンカーのメリットでありますけど、キッチンカーはお店を構えるよりも安く済む上、町に来て頂かなくても地域をPRできるメリットがあります。そしてメインのグルメのPRだけでなく、観光地や生活の情報などを直接伝えることができます。

最後になりますけど、私なりに地方創世を考えてみました。私たちが普段、不便だったりデメリットであると考えてることで、視点を変えれば大切なアピールポイントになるということ、地方創世の鍵は道外からの観光客や移住者の目線に立って考えること、そしてもう一つは何も無い場所不便だから、地域が活性しない人が来ないのではなくて、場所が分からない行き方を知らないという理由で、この地域に来てくれないのかも知れないのです。待っているのではなくて、私たち自らが出向いてPRすることがとても大切だと思います。

ご清聴ありがとうございました。

十勝信用組合 須貝俊太 様



皆さんこんにちは。本日は貴重な時間を頂きましてありがとうございます。十勝信用組合啓北支店の須貝と申します。よろしくお願いいたします。

今回私は9月1日～2日に士別市で行われました、第38回ライラセミナー参加させて頂きました。今回会場だった士別市は農業の集散地として発展し、製糖が主要な産業になっております。サフォークランド士別をキャッチフレーズに、羊の放牧に力を入れている自治体でもあります。そして視察させて頂いた羊の雲の丘は、37ヘクタールの面積の丘にサフォーク種の羊を中心に、世界の珍しい羊30種類が飼われている観光牧場でありまして、シーブドッグショーや羊の毛刈りショーを楽しませて頂きました。

士別市で放牧されている羊は、サフォークという顔の黒い羊で十勝では見ることが出来ないのと、近くで見ることが出来まして非常に貴重な体験となりました。

羊の毛刈りショーの様子です。今回の毛刈りにされている羊は製品には使えないということだったのですが、普通の羊であれば刈り取った毛から女性用の衣類であれば、2枚位は作れるというお話を頂きました。

今回のライラセミナーのテーマは、北国の地方創世でありまして札幌学園大学の教授より、経済学視点からの

地方創世について基調講演をして頂きました。

我が国の地方創世の基本目標は、

地方における安定した雇用を創出する

地方への新しいひとの流れをつくる

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

時代にあった地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

4つであります。

私達が住んでいる北国北海道の地方創世とは、北国の持つ特徴、気候、自然、文化、産業をどのように活かすか、北海道の特徴である広大な地域、最北の立地、アイヌ文化をどう活かすのかであります。

今回の講演に於いて私が最も重要だと感じたのは、こちらの経済学を用いた地方創世を考える視点であります。S W O T 分析というものがあまして、1960年代から1970年代にスタンフォード大学でアルバート・ハンフリーによって導かれた、外部環境や内部環境の強み弱み機会脅威の4つに分けて要因分析を行い、事業変化に対応した経営資源の最適活用を図る経営戦略策定であります。

北海道の強みを活かして、弱みをカバーし脅威を顕在化しないようにしていくこと、弱みを強みに変え脅威をチャンスに変えていくことが、非常に重要であるとのことでした。この講演の後に行われたグループワークに於いても、このS W O T 分析を用いて議論を行いました。そして地方創世を広めていくためには、住民ひとり一人の意識付けが重要であり、住民の自分達が住んでいる地域を良くして行こうという気持ちを持つことであります。

基調講演を元にして、グループディスカッションを行わせて頂いたのですが、北海道の強みや弱みはなにか、また弱みをどのようにカバーし強みはどのようにすればさらに活かすことが出来るのかをテーマに、グループディスカッションを行いました。北海道の強みは涼しい気候や広大な大地・温泉地や自然・食べ物等の観光資源であります。逆に弱みとしては、札幌近辺の都市部を除いた大部分での地域の人口が減少が続いていること。空き家や空き店舗の増加、交通の便が悪く移動手段が少ないこと、国際化が進んでいる中外国人に対応できる人材が不足していること等があげられました。

私どもの班では、この中では大きな問題であります人口減少や空き家・駅前の空き店舗の増加について考えていきました。北海道の人口減少の問題については、北海道の涼しい気候を活かしまして暑い地域のI T 企業の誘致したり、退職者の移住を支援することが可能ではないかと、私達の班では考えていきました。なぜI T 企業かといいますと、他の業種と違いましてコンピューターやインターネットがあれば業務が行う事ができ、サテライトオフィスを設置することが出来るのではないかと考えたからです。I T 企業に対しては、増えている空き家などを格安でサテライトオフィスとして提供し、一度でも北海道に住む機会を作り、北海道の涼しい気候や多くの温泉地、美味しい食べ物といった魅力に気付いてもらい、移住者になってもらえるのではないかと考えました。また都会に住んでいた退職者にも、夏場に空き家などを格安で提供し、自然豊かですごしやすい北海道の魅力を知

って頂きまして、永住者となって頂く事が可能ではないかと考えました。また増えている空き家や駅前の空き店舗の問題ですが、企業や業者を誘致することによって、解決するのではないかと考えました。空き家に関しては、先程と重複しますがサテライトオフィスとして活用してもらうこと、また最近めざましく発展している、インターネット販売業者に、倉庫として利用してもらうことが可能ではないかと考えました。インターネット販売であれば、空き家を倉庫として利用でき、商品発送は運送業者が近くにあれば可能であるため、どこの空き家でも倉庫として利用頂いて業務を行っていただけるのではないかと考えました。

空き家や空き店舗が目立っている北海道ですが、これを事業に繋げていって人口の減少というのを食い止めるとともに、地域経済を活性化していくことが可能であると考えさせて頂きました。

北海道の弱みとして大きいのは、北海道民のもつ内的思考ではないかという意見でもでした。北海道民の都道府県の大学の入学割合なんですけど、北海道から外に出ないで、北海道の大学に進む比率なのなんですけど全国で1位であります。僕も釧路の大学なんですけど、何となく近い方がいいやとか北海道内のほうがいいやとのことで大学を選びました。この内的施行なのなんですけど、北海道の愛であることは間違いではないのなんですけど、グローバル化が進んでいる中で日本の平均よりも外国人の観光客が多く、グローバル化を進めるには大きなチャンスがある北海道としては、大きな脅威であるのではないかという意見もありました。

新たな時代を築いていくのは、若者とよそ者と若者と いわれています。視野を狭くせず世界の中で北海道はどのような魅力があり、その魅力をどのように伝えていくことが出来るのかを、外部の視点を交えながら考えていくことで、今後の北海道はもっとより良いものになるのではないかと考えます。

また北海道や十勝と一言に行っても、広大な土地が有り抱えている問題は大きく違っています。各地域が各々対策を練ることが求められているのではないのでしょうか。これが私のグループで出た意見であります。

今回の研修では、様々な職種の方々と交流を深めることができ新たな発見もありました。また現在生活している北海道の問題について改めて考えることが出来る、非常に良い機会となりました。この研修で学んだ事を活かして北海道・十勝・帯広を今後より一層発展させていくために、仕事や普段の生活を通じて自分に何が出来るかを考えて参りたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な体験をする機会を頂きましてありがとうございました。

◎閉会宣言

齊藤蓮輝 S A A

◎点 鐘

益子裕之 会 長

次回プログラム予定

出席・プログラム委員会

10月2日(火)「会員卓話」

ゲスト：V T T (職業研修チーム)